

# 視聴覚教育時報

No.746 2024年 10月号

## contents

- ▽視聴覚教育・放送教育全国大会合同大会 生涯学習部会について
- ▽令和6年度 全視連調査研究について
- ▽全国視聴覚教育連盟 功労者表彰を受賞して
- ▽えすけーぷ

### ▽視聴覚教育・放送教育全国大会合同大会 生涯学習部会について

令和6年度の視聴覚教育・放送教育合同全国大会は、11月8日（金）・9日（土）の2日間にわたって開催します。1日目に授業公開、2日目にオンライン開催となり、2日目のオンライン開催では生涯学習部会においてセミナーや実践発表を行います。このほどその内容が下記のように決まりました。参加費無料なので、下記サイトよりお申し込みの上ご参加下さい。

<https://ave-hoso-2024.net/form/>

#### ◇11月9日（土）日程と内容

- 9:00～11:00 セミナー
- 11:10～11:40 全体会
- 11:40～12:40 昼休憩
- 12:40～14:00 全体講演
- 14:10～16:00 実践発表 2事例（各40分）

#### ◇セミナー（9:00～11:00）

- ・テーマ  
「16ミリフィルム利用の延命策と終い方」  
令和5年度の全国視聴覚教育連盟オンライン交流会において、全国の視聴覚センター・ライブラリーが16ミリフィルムの利活用に様々

な課題を抱えていることが話し合われました。令和6年度はこれを受けて、オンラインネットワークを活用した解決策の検討と提案を行う調査研究を進めていますが、本セミナーでは調査研究の一環として元群馬県視聴覚センター課長・元群馬大学大学院客員教授であり、現在、群馬県退職校長会会長である立見康彦氏を講師を招いて、既に映写機の生産やメーカーによる保守が終了している現在、16ミリフィルムの劣化を防ぎつつ、どのように利用していったらよいのかを考えると同時に、16ミリフィルムの利用を終わらせ方を学び、考える時を持ちます。

- ・講師 立見康彦先生  
（元群馬大学大学院客員教授、元群馬県視聴覚センター課長、現群馬県退職校長会会長）



- ・講演内容

「16ミリフィルム利用の延命策」

1. 16ミリフィルムの延命策
  - ① 保管・保全、② 修理、③ 利用可能な目録づくりと広報、④ ライブラリーの連携
2. 16ミリ映写機の延命策

- ①点検・修理、②部品の保管利用、③点検修理講習会の開催、④ライブラリーの連携

3. 16ミリフィルム利用の延命策

- ①利用推奨する16ミリフィルムの広報、②利用推奨する映画会の開催、③視聴覚ライブラリー利用の増加、④16ミリ映写機操作技術講習会の開催、⑤16ミリフィルム利用団体の育成

・終い方

- 1. 16ミリフィルムの廃棄と移管  
廃棄と移管は、共に全国視聴覚連盟に様式に基づいて届け出る。

◇実践発表(14:10~16:00)

- ・テーマ「県の視聴覚教育施設の取り組みと市町村に対する支援策の状況」
- ・2事例各40分(発表25分+質疑10分+補足説明5分)
- ・実践発表施設  
14:10 ①新潟県立生涯学習推進センター  
社会教育主事 榎本尚志氏

発表テーマ「新潟県のICT推進事業についてー市町村行政職員に向けた取り組みー」

14:55 ②鹿児島県教育庁かごしま県民大学中央センター主幹兼学習情報係長 野口 豪氏

発表テーマ「ICT活用に関する市町村支援ーICT活用のための「人づくり」「きっかけづくり」「体制づくり」支援」

- ・進行及び講師 丸山副専門委員長

<全国大申込> (申込締切 11/8 (金))

<https://ave-hoso-2024.net/form/>  
(参加申込サイト)

[https://ave-hoso-2024.net/assets/imag/es/2024\\_niji\\_fix2.pdf](https://ave-hoso-2024.net/assets/imag/es/2024_niji_fix2.pdf)  
(二次案内ダウンロードページ)

**授業公開 11月8日(金)**  
第68回 東京都小学校視聴覚教育研究会発表会  
会場：中野区立上野国小(東京都) 時間：13:00~16:30(受付12:30)

学年	授業名	教科/単元
第1学年	矢澤 香由理	道徳「いのちのことと(公共の精神)」
第2学年	長部 千寿	国語「とびやちんあそび」
第3学年	大城 雅希	保健「けんこう生活」
第4学年	若杉 裕樹	学級活動(2)「学級会(ワーアップ大作戦)」
第5学年	小澤 美実	総合学習(学習の発展「MESHよりよい学校生活」)
第6学年	藤原 悠太	国語「インターネットでニュースを読む」

東京都小学校視聴覚教育研究会 HP <https://teav.sakura.ne.jp/>

**申し込み・参加方法**  
下記の URL から申し込みください。  
<https://ave-hoso-2024.net/form/>

- 申し込み完了後参加IDとパスワード及び大会WebサイトのURLをお知らせします。
- 大会当日は、大会Webサイトにアクセスしていただき、IDとパスワードを入力して参加ください。
- 大会WebサイトのアクセスID・Zoomの接続IDと接続IDをお知らせいたします。
- 情報モラルの観点でIDとパスワードは個人で管理してください。
- 10時以降、大会Webサイトに大会情報を掲載します。(随時更新あり)

**問い合わせ先**  
全国放送教育研究会連盟事務局  
〒150-8001 東京都渋谷区神宮前2-1-1  
NHKメディア情報センター内  
TEL:03-5453-4310 FAX:03-3481-1372  
<https://hiosokyo.jp/taikai/>

一般財団法人 日本視聴覚教育協会  
〒105-0001 東京都港区芝浦3-10-11  
ビル4F/PTC101  
TEL:03-3431-2186 FAX:03-3431-2192  
<https://www.javea.or.jp/soutai/>

問い合わせメールアドレス [taikai@javea.or.jp](mailto:taikai@javea.or.jp)

令和6年度  
第28回 視聴覚教育総合全国大会 合同大会  
第75回 放送教育研究会全国大会  
大会テーマ 未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用  
令和6年(2024年)

**11月8日(金)** 参集で授業公開実施  
東京都小学校視聴覚教育研究会発表会  
会場：中野区立上野国小(東京都)  
公開授業6クラス  
視聴覚教材・展示発表会  
都小視研の研究発表を兼ねています

**11月9日(土)** オンライン開催  
AM ワークショップ  
PM 全体講演  
実践発表  
詳しくはP2-3を Check it out!

**参加費 無料**  
申し込み要(参加ID・パスワード)

ICT教育は急速に進化し、私たちの生活のさまざまな面で活用され、ますます広がりを見せています。教育の現場においてはその活用に必要な知識が求められています。しかしICT技術やネット環境、大規模なデータ処理や機械学習によって生成されたコンテンツ、多岐にわたる教育データの活用などから、新たな教育資源の活用や活用方法についても再考されることがあります。それだけに、活用を促すだけでなく、活用を促すための適切な支援や指導も必要だと考えられています。大会への参加でも多くの知識の蓄積、学びの機会をぜひ活用してください。

主催：全国放送教育研究会連盟、NHK、視聴覚教育研究会連盟、全国視聴覚教育研究会、日本放送教育協会、全国高等学校メディア教育研究協議会、全国視聴覚教育連盟、一般財団法人日本視聴覚教育協会  
共催：一般財団法人NHK財団  
後援：総務省、文部科学省、文化庁、東京都庁、東京都教育委員会、中野区教育委員会、日本教育メディア学会、日本教育工学会、日本教育工学会、日本視聴覚教育連盟、(公社)放送文化制作推進機構

インターネットとして、都府県立先生(各都府県立大学准教授)、榎本尚志氏(新潟県立生涯学習推進センター)、小池隆夫先生(東京学芸大学附属小倉井小学校教諭)にご登壇いただきます。

**ワークショップ 1** NEXT GIGAに向けた情報モラル教育とその指導法  
講師：東京大学准教授 高野 聖  
GIGAスクール環境による学校での端末利用や家庭でのスマートフォン利用の増加に伴い、子どもたちが情報に関する様々なリスクに直面することが課題となっています。本ワークショップでは、Next GIGAに向けて子どもたちに求められる情報モラルの力とともに、リスクに対する「自覚」や「見守り」をキーワードに具体的な指導法について考えていきます。

**ワークショップ 2** 今から始める! 放送番組を活用した「考え、議論する道徳」  
講師：札幌学院大学准教授 安野 真樹  
心が揺さぶられ、思わず語りたくなるNHK for Schoolの道徳番組。番組を活用して子どもたちよりよい生き方や自分の強さと向き、寄り添いたい気持ちなどについて語り合う道徳学習をしてみませんか? NHK for SchoolのGIGA教材を併せて活用することで、学習者の主体的な道徳学習を目指すワークショップです。実践報告者として丸岡清先生(立命館小学校)にご登壇いただきます。

**ワークショップ 3** 学習につなげるお子さんのためのタブレットなどのICT機器は学習の苦手な子に便利なツールとなります。例えば、漢字学習などタブレットなどICTツールを使えば漢字変換しながら文章を書けます。しかし、その子にとって本来の意図のある文章がどうにか十分理解されることなく導入されるケースもあります。ここでは子どもたちの理解度を理解した上で、ICTによる個別最適な学習を実現する方法を、実践ワークショップで学びたいと思います。進行協力：東京大学先端科学技術研究センター 個別最適化学び研究部門 特任教授 赤松裕美先生。

**全体会 11:10~11:40**  
1.開会行事(主催者挨拶、文部科学大臣挨拶)、功労者の紹介  
2.NHKプレゼンテーション

**オンライン開催**  
全体講演 12:40~14:00

テーマ 生涯にわたって能動的に学び続ける力を育むメディア活用  
現代の取り巻く社会状況は、メディアとは切っても切り離せない状況となっており、学校における授業のあり方や、生涯にわたって学習者が学び続けるためのようメディアを活用していくことが求められるのを、教育工学・教育の高度化の専門家である高橋純先生におたよりやすく解説していただきます。

講師：東京大学准教授 高橋 純

**実践発表 A 14:10~ B 14:55~**  
講師三二講演 15:40~16:00

テーマ	講師	発表者A(14:10~)	発表者B(14:55~)
1 放送番組を活用した情報活用能力の育成	東京大学准教授 中野 健	田村 直樹	山根 敏弘
2 放送番組を活用した探究的学びの実践	茨城県立中央高等学校 菅原 弘一	大宮市立大宮南小学校 豊田 亮	小野 拓
3 放送番組を活用した豊かな学びの実践	東京大学准教授 藤田 博史	東京都立大宮南高等学校 藤原 健介	千代田区立第一中学校 平塚 真希子
4 1人1台端末を活用した学び(中学校)	東京学芸大学准教授 藤原 悠太	千葉県立大宮南高等学校 藤原 悠太	千代田区立第一中学校 平塚 真希子
5 1人1台端末を活用した実践(小学校)	東京都立中央高等学校 藤原 悠太	千葉県立大宮南高等学校 藤原 悠太	千葉県立大宮南高等学校 藤原 悠太
6 県の視聴覚教育施設の利用促進と情報活用能力の育成(中学校)	新潟県立生涯学習推進センター 丸山 副委員長	新潟県立生涯学習推進センター 丸山 副委員長	新潟県立生涯学習推進センター 丸山 副委員長

---

## ▽令和6年度 全視連調査研究について

今年度の調査研究についてのテーマは、「オンラインネットワークを利用した16ミリ活用策提言にむけた調査研究」（新規）とし、担当専門委員を割り当てて実施することとなりました。

### 1. ねらい

令和5年度のオンライン交流会において、各視聴覚センター・ライブラリーが16ミリフィルム of 利活用に様々な課題を抱えていることが話し合われた。これを受けて、オンラインネットワークを活用した解決策の検討と提案を行う。

\* 調査研究のためのオンラインセミナーを視聴覚教育総合全国大会において実施する。

### 2. 調査研究の柱立て

#### ①16ミリフィルムの活用状況

(1) 令和5年度ライブラリー一覧の結果から、16ミリフィルムの貸し出し状況、映写機の保有状況、貸出状況を分析する（各専門委員の分析をまとめる）。

(2) 活用している施設の事例分析（4か所、各専門委員1か所を分担、県と市各2か所）

#### ○事例分析施設

・埼玉県視聴覚ライブラリー

担当：塩野谷委員（春日部市教育委員会視聴覚センター）

・かごしま県民大学中央センター

担当：村上委員長（全国視聴覚教育連盟）

・宇都宮市立視聴覚ライブラリー

担当：神委員（岩手県教育委員会事務局盛岡教育事務所）

・川崎市視聴覚センター

担当：大塚委員（千葉県総合教育センター）

#### ②16ミリ映写機の延命策の検討

(1) 16ミリ映写機を保有している施設を対象にアンケートを行い、どのような取り組みをしているかを明らかにする（アンケートの作成と分析を専門委員で協力して行う）。

(2) 実際に取り組みされている内容を踏まえて、これから取り組むべき延命策を検討する

#### ③16ミリ映写機メンテナンスのためのネットワークづくりの検討。

(1) 延命策の検討の一つとして、部品の相互提供などのネットワークづくりの検討を行う。

(2) ネットワークづくりの検討の一つとして全国大会でのセミナーのまとめを掲載する。

(3) ネットワークづくりの試案を提示して実現可能性を探る。

---

## ▽全国視聴覚教育連盟 功労者表彰を受賞して

今年度の功労者表彰受賞者5名のうち3名の方々の受賞の喜びの声をお聞きましたのでご紹介します（山形県・折原由美子氏・岐阜県・佐藤光司氏、愛知県・谷 知令氏）。

### ●山形県・折原由美子氏

「手づくり紙芝居に夢中です」

夏休みこども教室での紙芝居。舞台を設置しライトをつけて準備をしていると子どもたちが寄ってきて私に言います。「ばあちゃんが

紙芝居するの?」「んだよ。見てね」と私。

そして、手づくり紙芝居「なでら山のさる





とばあちゃん」が始まります。オシカばあちゃんが屋根の大雪を気にしながら「雪と一緒に漬してけろはー」と眠りにつく場面では、シーンと静まり返り緊張感が走ります。そして、次の場面で猿たちが雪おろしを始めると「うわー！」と歓声があがります。

終わると子どもたちが寄ってきて言います。「ほんとにばあちゃんがこの紙芝居作ったの？面白かったあ！もっと見たい」紙芝居はあちゃんの醍醐味です。

私は、山形県教育委員会主催の手づくり紙芝居制作講座で、山形紙芝居研究会の仲間とともに仙台市のときわひろみ先生の指導の下、1年1作紙芝居を作り、全国自作視聴覚教材コンクールに応募し続けて20年になります。ときわ先生は言います。「郷土を大切に、郷土の文化、歴史、人物を次世代に繋いでいくことが大切、意味がある」と。私は、「山形の題材を山形の言葉で」をモットーに資料を集め地域の人に取材して紙芝居を作り、幼稚園や学校や高齢者施設等で見てもらい、反応をもらい、知恵をもらい、書き直すことを繰り返してきました。手づくり紙芝居は、演ずる度に豊かになるのです。

県立図書館での月一度の「紙芝居のひろば」は4年目になります。図書館スタッフの協力で、その日の紙芝居作品に関連する本の読書

指導、生き物（イナゴ、カエル等）とのふれあいなど探求学習に繋がってきています。

岩根沢三山神社のお祭りで「あやにあやに出羽三山のはなし」を演じたとき、ヤタガラスがバホーンバホーンと飛ぶ場面で法螺貝の音が鳴り響きました。観客の山伏の方が法螺貝で合いの手を入れてくれ最後まで盛り上がりました。

紙芝居は演じ手と観客が反応し合って進んでいきます。だから面白い。紙芝居に夢中です。

### ●岐阜県・佐藤光司氏

「視聴覚教育功労者表彰を受賞して」



このたびは、全国視聴覚教育連盟視聴覚教育功労者表彰という権威ある賞を受賞することになり大変光栄に思います。中津川視聴覚クラブ創設来の歴代会長、会員の皆様のお陰、また、行政の方のご支援の賜物であると感謝しております。

中津川視聴覚クラブは、昭和53年4月5日に会員数12名で始まりました。当初は、16ミリ映写技術を習得しボランティア活動として夏休み地域映画会も実施し、その後福祉施設の行事の応援など、福祉関係のボランティア活動に重点が置かれました。また、カメラ・スライド関係など幅広く取り組んできました。



時代の流れに伴い、ビデオ撮影へと活動も変更してゆきました。16ミリ映画会は継続しつつ、カセットテープのDVD化も進め、子どもたちにより多くの作品を紹介できるようになりました。夏休みの映写会は継続しています。

現在では、動画の撮影・編集・各種メディアに書き込み・保存に、活動の軸足をおいています。また、行政からの依頼も受け、4Kカメラなどで撮影し、各自のパソコンでソフトを使って編集し、提供しています。また、「二十歳の集い」「公民館祭」など定例的に依頼を受けています。

市民を対象に、フラダンス等の撮影の依頼も受けたり、公民館講座において、カメラ撮影からパソコンでの取り込み・DVDへの作成についての講座を開催したりと、自分たちのできる限りの支援を行っています。

高齢化が進む中で視聴覚協議会も変化しています。ドローンによる空撮など、今後も撮影、編集の技術は変化するものと思いますが、私自身、仲間と共に挑戦の精神でこれからも頑張りたいと思います。

この度は誠にありがとうございました。

●愛知県・谷 知令氏  
「16ミリ映画をふりかえり」



昭和58年に視聴覚にたずさわる業界に入り、当初は、市教委の16ミリ映写機の講習を受け即座に地元地域の子供会、老人会へ一宮AV技術者の会員として上映会をやってまいりました。初めての映写会では皆様の前で上映担当者として責任を感じ、胸が破裂するような思いをしたものです。

映写会がスムーズに進めばいいんですが、途中で何かトラブルが起きないかと、いつもドキドキしたものでした。

上映がスムーズに進み終盤が近づきENDがでて皆様の拍手が出て、はじめて胸をなでおろしたものです。

今は、すべてデジタルに代わり音質はクリアで、画質も鮮明で鑑賞する側としては非常にいいんですが、上映技師としては満足感ないものを感じます。

---

## ▽えすけーぶ

先日、香川県坂出市に訪れ、30年ぶりに旧友に会い、旧交を温めました。彼とは若い頃に全国の自治体や国の機関の職員が参加して実施されたフランスでの生涯学習研修で出会いました。

他の2つの自治体から参加した職員を含めて4人がちょうど同じくらいの年齢ということもあって、宿泊施設や自由行動の際に一緒になることが多く、帰国してからも年賀状やSNSでのつながりが続いています。

夜遅くに坂出市に着いて、翌日は朝から「うどん屋」「瀬戸大橋と与島」「屋島」と案内してもらい、最後に高松市内の和菓子の木型職人さんの工房に連れて行ってもらいました。

市原さんというこの職人さんのホームページによると、「和菓子を成型する際に用いる木型のこと。菓子のデザインとは左右及び凹凸が逆になるように彫って制作します。現在、この菓子木型を制作している職人は全国で6～7人のみ。四国では私1人になってしまいました。江戸時代から季節の香りを日本人に届け続けてきた和菓子、その舞台裏で連綿と受け継がれてきた木型の伝統を、是非みなさまにご紹介したいと思い、このサイトを開きました。」と書かれています。

まさに芸術品とも言える木型で和菓子の和三盆の打ち出しも体験させていただき、貴重な体験の時を持つことができました。

香川県と徳島県は和三盆糖の産地として知られ、和菓子の和三盆は干菓子の代表格です。

和三盆の中の打ちものといわれるものはこの菓子木型を作って作られています。

市原さんのホームページに「絶滅危機にある菓子木型」とあるように、香川県では市原さんが最後の木型職人です。木型そのものは長い間使えるものではありませんが、将来的に職人の手作りによる新しい木型が提供されなくなるのは寂しい限りです。

視聴覚教育の世界でも16ミリフィルムと映写機はまさに絶滅危惧種であり、今後どうするかは大きな課題です。構成された映像というソフトウェアを再生できる媒体に固定した16ミリフィルムとそれを再生して視聴できるようにする映写機を組み合わせた視聴体験ができなくなろうとしている現在、ソフトウェアである構成された映像をどのように残していけるのか、残していくべきなのか、市販教材においても制作会社の撤退で対応が難しくなっていますが、制作者と利用者が知恵と力を出し合って方法を模索する必要があるのではないのでしょうか。(T. M)

(参考ページ) 菓子木型の世界 - 菓子木型の世界～木型工房 市原  
<https://www.kashikigata.com/>

---

全国視聴覚教育連盟  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル  
TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192  
H P : <http://www.zenshi.jp/>  
Mail : [info@zenshi.jp](mailto:info@zenshi.jp)

---

# 東映 教育ソフト Line-up!

## 道徳・平和教育

### おばあちゃんは認知症 ～お兄ちゃんからの手紙～

最新作

認知症のおばあちゃん、部活動も勉強も上手くいかず自分を見失っていた中学生の男の子とその家族、先の戦争で若くして亡くなったおばあちゃんの兄たちが登場する物語を通して、認知症の人との接し方・相手を思いやることの大切さ・平和の尊さを伝えます。(約15分)



字幕・副音声版付き

77,000円(税込)  
学校特別価格 38,500円(税込)

### お父さんへの千羽鶴

ともえちゃんのお父さんは特攻隊員でした。千羽鶴に託された家族の祈りと、二度と帰れぬお父さんの想い。愛する家族と国を守るために亡くなったお父さんの姿から、平和の尊さ、家族の絆の大切さを子供たちに伝えます。(約14分)



原作ときたひろし「お父さんへの千羽鶴」(展転社)

字幕版付き

77,000円(税込)  
学校特別価格 38,500円(税込)

## 小学校道徳・特別活動・防犯

### 小学生の情報モラル教室 スマホを正しく活用しよう!

#### 1巻 学ぼう! スマホのトラブルを防ぐマナーとルール

令和6年度優秀映像教材選奨 最優秀作品賞(文部科学大臣賞)

#### 2巻 考えよう! スマホを使った上手なコミュニケーション

令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

1巻で「スマホと個人情報の守り方」「ネットの課金トラブル」「スマホ依存症」、2巻で「ネットいじめ」「SNSでの出会い」のテーマを取り上げ、それぞれドラマ編と解説編で構成。子供たちに、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかを考えさせ、トラブルにつながる行動の自覚を促し、正しい判断力が育成されることを狙いとします。(1巻 約24分 2巻 約23分)

各巻 77,000円(税込) 2巻セット価格 143,000円(税込)  
学校特別価格各巻 38,500円(税込) 2巻セット学校特別価格 71,500円(税込)



## 中学校道徳・人権啓発

### 国際理解・国際貢献を考える ～台湾との絆～

令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

東日本大震災での支援や、新型コロナウイルスへの対策など、日本と台湾は困った時に協力し合ってきました。このような日本と台湾の絆を関係者のインタビューを交えて紹介し、国際理解・国際貢献について考えていきます。(約14分)



字幕版付き

77,000円(税込)  
学校特別価格 38,500円(税込)

### 障害のある人の気持ち 私たちの一歩

令和6年度優秀映像教材選奨 優秀作品賞

中学生たちに車いすに乗ってもらい、車いすでの生活にはどのような困難や危険があるのか体験します。また、バラスリートの方へのインタビューから、どんな手助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのか考えていきます。(約18分)



字幕・副音声版付き

77,000円(税込)  
学校特別価格 38,500円(税込)

お問い合わせ・チラシ請求は



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

☎ 03 (3535) 3631 FAX03 (3535) 3632

予告編配信中

教育映像

検索

<https://www.toei.co.jp/entertainment/education/index.html>



他にも幅広い商品  
ラインアップを  
取り揃えております!

ドラマスタディ

<https://dramatic-study.toei.co.jp>



<http://www.toei.co.jp/edu/>